

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800244
法人名	特定非営利活動法人 NPOみなまた
事業所名	グループホーム 三郎の家
所在地	鹿児島県出水市住吉町6番18号 (電話) 0996- 65- 7740
自己評価作成日	令和2年2月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

環境の面では名古屋地区という住宅街にある海の入り江にあるグループホームです。土地の提供者の三郎さんへの信頼と感謝の意を込めて「三郎の家」とつけられました。廊下からは湾が見え、時間帯や季節によって様々な心安らぐ風景が見られます。

日常生活では利用者様のペースで安心・安全を第一に、ゆっくりとした時間を過ごしてもらえるよう支援に努めています。また、一人ひとりの残存能力を活かせるように出来る事は何かあるかを考え、やっていただいた事には必ず感謝の言葉を伝えるようにしています。今は出来なくなった方であっても、一人ひとりがかけがえのない存在であるという事を忘れず支援に努めています。

職員は無資格であっても、その方のペースに合わせて出来る限り楽しみながら覚えてもらえるよう心掛けています。職員が明るくいいききと働ける職場作りから良いケアが生まれると思っているからです。一人ひとりの能力にばらつきはありますが何事にもチーム全体で問題に取り組み、解決できるようなグループホームを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、周辺に商店や公民館・神社・バス停などがあり、民家も多い。地域の人々とふれあいながら生活できる環境で、野菜などをもらったりもしている。

- ・自治会に加入し、回覧板で情報を得、総会にも出席している。神社祭りの見物やリサイクル活動にも当番を担って積極的に活動している。「いきいきサロン」を開催したり、事業所の行事にも多くの地域の人々のボランティアの受け入れをするなど、地域との交流に積極的に取り組んでいる。今後、認知症サポーター養成講座を再開し、認知症の相談にも対処するなど地域との交流を深める方向である。

- ・職員とのコミュニケーションを図り、職員の意見や提案を積極的に取り入れている。職員は、利用者が笑顔で温かい家庭的な雰囲気の中で、その人らしい生活ができるよう特に更なる傾聴に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	当法人の理念である「人権・安心・共生」を元に作成したものを朝の申し送りや唱和する事で、職員全員で理念の共有と実践へとつなげている。	理念は玄関や事務室に掲示し、パンフレットにも掲載している。朝の申し送り時に唱和し、職員会議等でケアの実践を振り返り、理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会、月番や配りもの、リサイクル当番への参加や毎月行われている「いきいきサロン」への参加も実施している。また、可能な限り地域の祭りなどにも参加し交流を図っている。	自治会に加入し、回覧板で地域の情報を得、総会にも出席し、神社祭りの見物、リサイクル活動にも当番を担って参加している。「いきいきサロン」では笑いヨガに参加したり、今後、サポーター養成講座などを開催して、地域との交流を深める計画である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	利用者様の家族や近所の方、サロンに来ている方達から時々質問されることがある。認知症になっても出来る事や一人ひとりの特徴がある事も伝え、理解と支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>自治会長、民生員、利用者家族、役所の方と色々な方に参加していただき職員間では出ない意見などがあるため、サービス向上にとっても役立っている。</p>	<p>会議は定期的に行っている。事業所の状況やヒヤリハット・事故報告・外部評価結果報告などを行い、委員からも多くの助言や提案がある。事業所への理解を深め、情報発信の場ともなっている。助言を職員で話し合い、服薬管理などにも活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>生活保護担当者とのやりとりや、新規で開催されたカフェへも参加しお互いに意見交換も行った。役所の方の紹介で自施設で働いている職員もおり良い連携が取れていると感じる。</p>	<p>行政の窓口に出向き書類更新や現状を伝え助言を得ている。運営推進会議に行政から参加がある。生活保護担当者との連携も密に取っている。行政主催の研修会やグループホーム連絡協議会にも参加して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者様の活動時間内は施錠せず自らの意思で出入りしていただいている。新人職員にはその都度研修を行い、他の職員も身体拘束につながるのではないかとという視点を持って、安全で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>マニュアルに沿って身体拘束委員会で研修会を年に1回実施し、身体拘束適正委員会でも2ヶ月毎に研修会を実施し、事例をあげて取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせず、外出希望の利用者には一緒に散歩するなど、身体拘束をしない支援を心掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は全員研修を受けている。学ぶことは大切だが介助者のストレスやメンタルも重要と考え、職員が互いに何でも相談し支え合える環境を作り虐待の防止に努めたい。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎年権利擁護について法人主催の研修に参加している。また、成年後見制度を利用している方もおり後見人の方とも連携をとっている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	時間を設けてご家族が理解できる言葉で説明を行っている。説明が一方的にならない様、表情も見ながら話をしやすい環境作りにも努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様の言動から気持ちを汲み取るよう努力している。運営推進会議にも出席していただいているご家族もおり年に1回は家族会を開き意見・要望を頂き運営に反映できるようにしている。	利用者には、日常の関わりの中で声かけして思いを聞いている。家族からは、食事会を兼ねた家族会やアンケート結果、面会、運営推進会議で意見を聞いている。ラインを利用する場合もある。地鎮祭に参加したい希望があり、対応し家族や利用者に喜ばれた事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	法人へは年に1回職員集會が開かれ、施設の意見を伝え可能な事は少しずつ反映されて来ている。また月に1回法人内での管理者會議もありその都度意見等を伝えている。	法人主催の職員集會やホームの職員會議で、職員の意見や要望を聞いて、管理者は意見を集約し対応している。利用者の寝つきが悪い事等を話し合いケアに活かした改善例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の長所と短所をある程度理解し、お互いに助け合いながら業務に取り組んでいる。職員が楽しく働ける環境から良いケアが生まれるとも実感している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修には極力参加している。法人外の研修にも参加したいが職員不足が主な原因で今年度はあまり参加できていない。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強會、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度は殆ど交流が出来なかった。次年度はキャラバンメイトへの参加やGH連絡協議會の研修等にも参加もし、交流を深め長ながらサービスの向上に努めたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人様から詳しく話を聞くことはもちろんだが、ご家族からも貴重な情報を伺える事も多い。本人が話しやすい環境作りも職員全員で工夫し、良い関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>詳しく話を聞くことはもちろんだが、事業所全体で良い関係性を作りたいのでなるべく全職員と話が出来るようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>1度施設見学をしてもらい気になる事や分からない事を確認している。本人様とご家族の意向もあるため、入居されても在宅復帰や他施設への転居の相談も受けている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>何が出来る事かを大切に、出来る事を無理のない程度に行ってもらっている。その際感謝の気持ちを必ず伝え、支えあう関係性作りへとつなげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>緊急時の取り決めではご家族の意向もしっかりと聞くことができ、より本人様の事を考える時間が増えたと思う。どうすれば本人様にとって良いのかを考える一方、ご家族には負担をかけ過ぎない様気を付けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>サロンでは学生時代のご友人とも一緒になれたり、面会時にはゆっくり過ごしていただいたりとこれまでの付き合いがあった方とはなるべく関係性が切れない様支援している。</p>	<p>家族や友人・知人の面会時は、一緒にお茶を飲んだりしている。友人と詩吟を聞きに、馴染みの場所に出かけたりしている。手紙や電話の取次ぎなども行って、継続的關係が途切れないよう働きかけている。訪問理美容院も利用している。家族との外出や外食・墓参などの際にも支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士の関係性を把握し、言動を見ながら一緒に過ごしてもらっている。集団が苦手な方もいるが職員が介入することで関係性は保てていると思われる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービス終了後は殆どお会いする事はないが、数家族とは年賀状のやり取りだけは5年ほど経った今も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自ら意思を伝えることが出来ない方の気持ちを考えることは難しいが、ご家族や職員全員の考えや意見を元に利用者様の気持ちを考えるようにしている。	入浴時など日々の関わりの中で状況を見て声をかけ、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。意思疎通が難しい場合は家族や職員で話し合い、本人の立場になって支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様、ご家族、ご友人からの情報や医療機関からの情報を元にこれまでの暮らしを把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は利用者様一人ひとりの特徴を把握し、何気ない言動から起こりうるリスクを考えている。また職員の都合で業務が優先されないよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員一人の強い気持ちが優先されない様、沢山の情報を元にバランスを考え本人様にあったケアを行えるよう努めている。	本人や家族と話し合い意向を確認し、担当者会議を開き、主治医の意見を入れ、思いや意向を反映させて介護計画を作成している。モニタリングは月1回行い、見直しは必要時に、状況が変化した時は、その都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	次へとつなげられるように記録する事を1番の目的と考えている。長く文章を書けばいいという事ではなく、効率よくシンプルに書けるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療面では看護師が主となって連携をとったり、他施設のサービスの利用も視野に入れた対応も考えている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議やサロンへの参加の際に依頼したり、状況に応じて自治会長にも依頼し協力を得ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様、ご家族の希望でかかりつけ医の受診を行っているが、定期的に本人様に適切な医療が受けられているかを確認する事も大切だと考える。	本人・家族の要望を聞きかかりつけ医の受診を支援している。受診は職員が受診同行し、結果は家族に報告している。他科受診は家族の協力を得て支援している。緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。服薬管理も配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気付いた事があれば看護職へ相談している。必要であれば医療機関へ相談・受診し細かい情報は職員間で共有できるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>今年度は入院はなかったが、今までは早期退院に向け食事介助を行ったり現状の把握に努めていた。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化、終末期については入居時にも説明している。本人様やご家族にはどこまで検査や治療を行うか？職員はどこまで看れる力と覚悟があるのかもチーム全体で考え支援したい。</p>	<p>重度化や終末期対応の指針を説明し同意をもらっている。主治医と話し合い、段階的な状況に応じて家族の意向を確認し家族と方向性を共有し支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の取り決めがなかったため新たに書面を作成した。応急処置などは救急法を受けた際や看護職員に教えてもらい備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災想定での訓練は出来ているが水害時における避難訓練は行えていない。海に近い場所のため十分な訓練が今後の課題である。</p>	<p>消防署指導の下年1回、自主で年1回、火災・地震における昼夜想定での避難訓練を実施している。スプリンクラーや火災報知機も設置している。自治会長の参加もあり、地域との協力体制もできている。満潮時の時間を記録している。非常時の水・米・非常食・日用品・懐中電灯等の備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	方言が人によっては強い口調のように聞こえたりもするため慎重に言葉を選ぶ必要がある。一人ひとりに合わせて姓や名前と呼ぶ工夫もしている。	接遇等のマニュアルをもとに勉強会を実施し、職員の資質向上に取り組んでいる。誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや入浴や入室などでは羞恥心に対する配慮をしている。名前は「さん」付けで対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様が自ら選択でき、わかる言葉で声掛けするよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度1日の流れは決まっているが、出来るだけその方の希望に沿って過ごせるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	出来る方には任せているがその時の状況次第でお手伝いさせてもらっている。介助が必要な方は特に気がけて整容のチェックを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	各自の好みを把握し、場合によっては量や味付けをその方に合わせて提供している。出来る方にはお茶を注いでもらったり茶碗拭きのお手伝いもお願いしている。	利用者の嗜好を取り入れ、食事形態を工夫した献立である。玉ねぎの皮むきや片づけなど職員と一緒にしたりしている。利用者と職員が同じテーブルを囲んで会話を楽しむ雰囲気である。誕生祝いや季節の行事食など、楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全員の食事・水分量を毎日把握し状況を見て調整もしている。嚥下の状態も個人差がある為、一人ひとりに合わせた食事形態と介助法で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	定期的に歯科受診や難しい方には往診にも来てもらっている。介助が必要な方には専用のスポンジやガーゼを使ったり、自立されている方も仕上げ磨きを行い口腔内の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの特徴を把握し、睡眠の妨げにならない様子リハビリパンツと紙おむつを使い分けてしている。自立されている方にも失敗が無いよう時間を見てトイレの声掛けを行っている。	排泄パターンの把握に努め、職員間で声かけ誘導を行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。ポータブルトイレ使用者もあり夜間パットの交換や個々に合わせて対応している。排泄用品の選択にも配慮して、自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品を取り入れたり水分量が少なくないかも確認している。また体操が出来ない方には座位のまま出来る足踏み（機械で）を行ったりしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	今の所曜日と時間帯はこちらで決めさせてもらっているが体調や気分次第で午前や午後、または翌日への変更を行っている。	入浴は週に2回を目安に、午前・午後に対応している。その日の体調や気分配慮して柔軟に支援している。入浴を嫌がる時は日を変えたり、声かけの工夫をしている。入浴剤や保湿剤を使用したり足湯にも対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況を見ながら無理はせず休んでももらったり、人によっては夜間の睡眠に影響が出ないように日中の活動性を上げている方もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	どのような薬を飲んでいるか薬品カードを一人ひとりファイリングしてあり確認するようにしている。受診後に変更があった際は次につなげられるよう細かく記録し報告、相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>各個人の特徴を把握し出来るお手伝いをそれぞれにお願いしている。その都度感謝の言葉を伝え、かけがえのない存在であることを感じてもらいたい。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望に沿った外出は出来ていないが、気分転換に買い物に付き合っていたりサロンへの参加を行っている。</p>	<p>日常は近隣の散歩や外気浴をしている。薬取りや買い物に付き添ったりしている。年間計画を作成し、地域の行事や神社詣り・季節の花見に出かけている。家族と一緒に墓参り・外食・法事・外泊する利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在お金の所持をしている方は一名のみで他の方は施設が立て替えて物品の購入をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙のやり取りは行えていない。遠方の方からの贈り物等があった場合は職員と一緒にお礼の電話はかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設のところどころに季節に合わせた飾り物を設置している。視覚や聴覚からのストレスがあまりない様、先を見据えて状況を説明する等の工夫を行っている。	家庭的な空間で室温・湿度・換気・採光に配慮し、空調管理が適切である。利用者の習字の作品や季節感を大事にした飾りつけがされている。掃除が行き届いている。ソファにかけてゆっくりテレビを見てくつろげる。縁側にもソファが置かれ、海の景色を見て癒しになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ある程度過ごされる場所や相手が決まっている。状況に応じて皆さんと一緒に過ごしてもらったり、一人過ごせる場所を提供するよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人様、ご家族の希望があれば馴染みの物を使っていたが、心身の状況に合わせて使用する物も変わってくるので臨機応変に対応している。	ベッド・エアコン・タンス・時計が設置してある。家から持ち込まれた寝具・写真・テレビ・タンス・椅子・暦・マットレス等が置かれている。安心して居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個人に合わせて車椅子、歩行器を使用したり居室やトイレ等には名前を書いて分かりやすくし、少しでも残存能力を活かせるよう支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない